

○後 歌 (謡曲風なしめくりの部分)  
 へ楽の音共に東叡よりも、風がふらす花  
 紅葉  
 ……廻りてや見ん八つの名どころ。

⑥ 指導上の留意点

- ア 指導にあたっては、まず聞くことによる感性的な把握を主とし、知的な指導に片よらないこと。
- イ 歌詞や曲のしくみをあらかじめ提示しておくこと。
- ウ 伝統音楽に親しむきっかけを作るうえで、描写的でとらえ易い「合方」のおもしろさを特にとりあげてみることにする。

3. 三味線音楽～語りもの～について

音楽Ⅱでは、文学とのかかわりのある「語りもの」をとりあげることになっているので、ここでは、具体的な指導の展開を見てみることにする。

次の指導案や鑑賞ノートの抜萃でわかるように、語りものの真髄に迫らせるには、内容を精選し、教育機器を十分に活用し、歌詞や説明を明示することは勿論のこと、要点をまとめさせ、記録させ、簡単な感想を書かせることが重要なことであり、教師は参考文献、資料の収集、スライド・TPの作成、VTRの収録等、つねに周囲に目を配り、それぞれの学校で、個々の生徒の能力に合った指導計画を作成し、日本の音楽を積極的に授業にとり入れて欲しい。

指 導 案

芸術科 (音楽)		教諭 懸田弘訓
題材名	文楽人形浄瑠璃「艶容女舞衣」 酒屋の段	
題材設定の理由	人形浄瑠璃は歌舞伎と並んで、日本の庶民芸能の二つの柱である。その中でも世話物の代表作といわれるこの作品をとりあげ、人形浄瑠璃独特の型や演出法を知ると共に、音楽としての特徴を理解させたい。	
目標	1. 人形浄瑠璃の成立過程と背景について理解させ、その構成や演出法について知らせる。 2. 語り物的性格のことに強い浄瑠璃の音楽的な特質を理解させ、その美しさを味わわせる。	
指導過程	・人形浄瑠璃の成立とその構成) 1時間(本時) ・「艶容女舞衣」の鑑賞 ・音楽としての浄瑠璃とその特質 1時間	
本時の主眼	人形浄瑠璃の成立過程を理解し、「艶容女舞衣」を鑑賞して、その構成や劇的な表現法に関心をもたせる。	
資料	教科書 鑑賞ノート スライド(※自作) V. T. R(※TVより録画したもの)	

本時の指導過程

	指導内容	学習活動	時間	指導上の留意点	備考
導入	庶民の芸能としての人形芝居	身近にある人形芝居について話し合う	5'	•かつて人形芝居は、もっとも身近な娯楽であったことに気づかせる。	V. T. R スライド
展開	人形浄瑠璃の成立	人形浄瑠璃の成立について学ぶ。	5'	•歴史的・文化的な背景を重視する。	スライド
	鑑賞	「艶容女舞衣」を鑑賞し、その構成や演出法を知る。	25'	•ストーリーを話す。 •人形遣いの役割に留意させる。 •人形と浄瑠璃とのかかわり合いに注意させる。 •太夫の語り分けと表現法に留意させる。	V. T. R
整理	感想を聞く	感想を述べ合う	10'	•ストーリーだけにこだわらず、人形浄瑠璃全般にふれる。	
	次時の予告		5'		

鑑 賞 ノ ー ト

2 人形浄瑠璃

浄瑠璃物語 [人形浄瑠璃] 三味線 [古浄瑠璃] 竹本 義太夫 近松門左衛門

(1) 人形の構造と特質 (三人遣い、種類、舞台)

(2) 地方の人形浄瑠璃

[鑑賞] 「艶容女舞衣」(三勝半七) 酒屋の段  
 ○初 演 安永元年(1772) 大阪豊竹座  
 ○登場人物 酒屋の父 父 宗 岸  
 半兵衛 娘 お 園  
 三 勝 子 半 七

○お園のくどき  
 「今頃は、半七様 何処にどふしてござさうぞ今更返らぬ事ながら、私といふ者無いならば

と最後を急ぐ心根よ よその見る目もいじらしい。  
 (感想) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

(3) 音楽としての浄瑠璃とその特質

参考文献

- 日本音楽の歴史と鑑賞 星 旭 音楽之友社
- 日本の音楽の指導 文 部 省 教育芸術社
- 日本音楽の歴史 吉川 英史 音楽之友社
- 日本音楽史 田辺 尚雄 音楽之友社